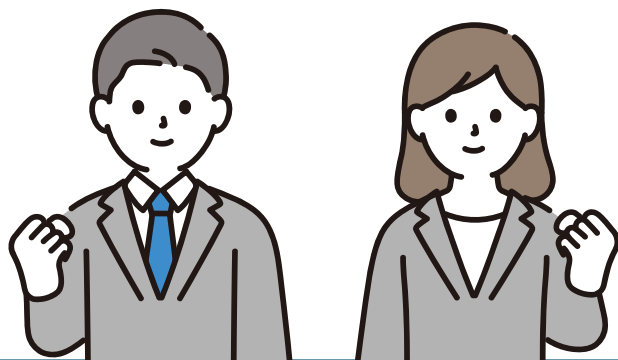




世代間でつながる～eスポーツで新たな地域交流～

令和6年 10月 25日

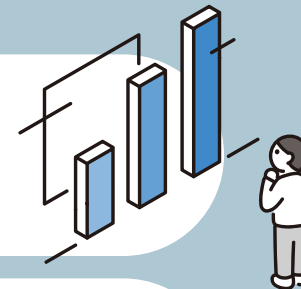
高知市保育幼稚園課 掛水 奈穂



目 次

01

現状分析



02

eスポーツについて

03

政策提言



04

費用対効果



05

ビジョン



現状分析① 高知市総合計画

— 高知市総合計画後期基本計画 第2次実施計画 2024～2026年度 —

施策4 地域文化の継承と発展

【施策の目的】

あらゆる世代が、地域の祭りや伝統芸能、食文化に触れることで、地域固有の文化を大切にする心を育むとともに、**世代間や地域間の交流などを通じて、**後世に地域文化を着実に継承し、発展させていきます。

施策12 地域住民の支え合いによる地域福祉の推進

【施策の目的】

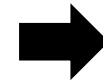
地域のさまざまな団体・事業者、住民、行政等がつながりを持ち、それぞれの役割を果たしながら助け合い・支え合いの活動が行われ、誰もが安心して、いきいきと自分らしく暮らせる支え合いのあるまちづくりをめざします。

世代間や地域間、地域内での交流が重要！！

現状分析② 高知市の現状

①高知県総幸福度に関するアンケート（（一社）しあわせ推進会議ほか2団体が実施）

「興味・関心がある活動や行事が地域にある」
「地域での活動に参加している」



最下位

高知市は地域交流が少ない、

※参考資料①



②町内会等の活動に関するアンケート（高知市町内会連合会・高知市が実施）

- ・ 全体の約4割の町内会等が「**町内会活動が停滞気味**」と回答
- ・ 「**先進的な活動事例等の紹介**」を求める声多数

※参考資料②



現状分析③ 町内会等の現状

①町内会等の現状

【町内会等が抱える課題】

- ・ 役員のなり手不足
- ・ 役員の高齢化

※参考資料②-3



若い世代が町内会活動へ参加
することが重要！！

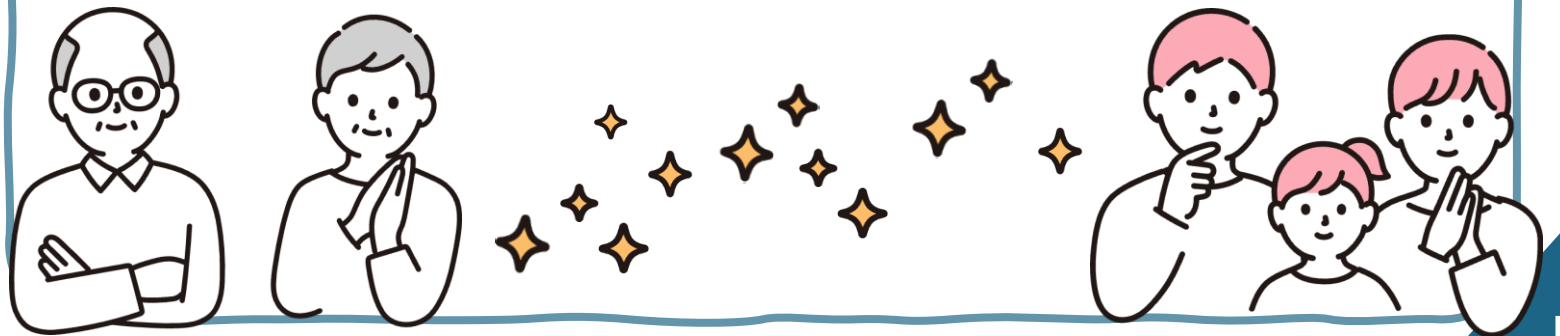


②若い世代が参加したくなる町内会活動とは、、、

若い世代から人気のあるe スポーツを取り入れた町内会活動を行い、町内会活動参加のきっかけづくりに！！



町内会活動が世代間・地域交流の場へ！！



eスポーツについて① eスポーツって何？



eスポーツとは・・・

エレクトロニック・スポーツの略で、電子機器を用いて行う娯楽・競技・スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム・ビデオゲームを使った対戦を、スポーツ競技として捉える際の名称です。

▲友人夫婦宅でeスポーツをした際の写真

eスポーツについて② 高知県内のeスポーツの現状

一般社団法人 高知県eスポーツ協会の取り組み

高知県にeスポーツを普及させる活動を行っており、県内各地で大会や交流会を開催。
2023年8月に、**イオンモール高知**で開催したeスポーツフェスティバルでは、**1,097名**が参加。

※参考資料③



eスポーツフェスティバル当日の様子（写真提供：(一社)高知県eスポーツ協会）

eスポーツについて③ 高知県内のeスポーツの現状

高知県社会福祉協議会の取り組み

シニア世代の健康維持につなげようと、55歳以上の方を対象にしたeスポーツ体験会を開催。

当日は、「太鼓の達人」や「ぷよぷよテトリス」など4つの競技が用意され、37名が参加。

※参考資料④



体験会当日の様子（写真提供：（一社）高知県eスポーツ協会）

eスポーツについて④ 他市の事例

島根県安来市の事例

2023年11月19日にeスポーツ運動会を開催。

eスポーツへの理解促進と関係人口の拡大等を目的とした普及事業として実施。

「マイクラフト」や「ぷよぷよ」等の人気ゲームを複数用意しており、当日は約600名が参加。



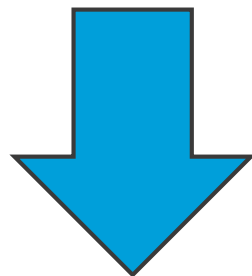
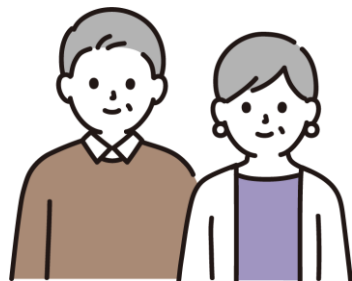
eスポーツ運動会当日の様子（写真等提供：島根県安来市役所・島根県eスポーツ連合）

eスポーツについて⑤ スポーツの魅力

eスポーツのここが魅力！

- ①年齢や性別、障がいの有無に関係なく、**誰もが参加**できる
- ②仲間との協力で、コミュニケーション能力が向上する
- ③ネットリテラシーを学ぶことができる
- ④情報処理能力や論理的思考力を身につけられる
- ⑤フレイル予防につながる
- ⑥プレイヤーも観客も場所を選ばず好きな場所から参加が可能
- ⑦共通のゲームを通じて**交流が深まる**

今後、教育・福祉
分野での活用も期
待されている



地域交流×eスポーツ＝新たなコミュニケーションツール

政策提言

①出前体験会



②eスポーツ運動会



政策提言① 出前体験会

出前体験会の概要

対 象 者：町内会、自治会、地域内連携協議会等

開催目的：eスポーツを楽しんでいただき、共通のゲームを通じて世代間の交流を図るもの。

【体験会のポイント】

幅広い年代に興味を持ってもらえるよう、子どもから高齢者まで楽しめる複数のゲーム（太鼓の達人、ぷよぷよテトリス、グランツーリスモ等）を選ぶ。

→一緒にeスポーツを楽しむことで、会話が生まれ、世代間の交流に繋がる。



開催場所や機材の準備

①開催場所

学校、公民館、ふれあいセンター等

→地域の方が集まりやすく馴染みのある施設

②eスポーツに必要な機材等

(一社)高知県eスポーツ協会へ委託

→当日必要な機材の用意及びスタッフの派遣が可能。



政策提言① 出前体験会



step1 モデル地区の選定

町内会活動等が活発な地区を選定し、体験会の内容を説明



開催希望の地区へ学校や町内会を通じて開催案内配布

団体へ直接打診することで、eスポーツに関心のない団体へもアプローチが可能。

step2 出前体験会の開催

当日は(一社)高知県eスポーツ協会へ運営を委託し、体験会を実施

市でアンケートを用意し、当日の感想や、世代間での交流に繋がったかの調査を行う



step3 他地区への事例報告

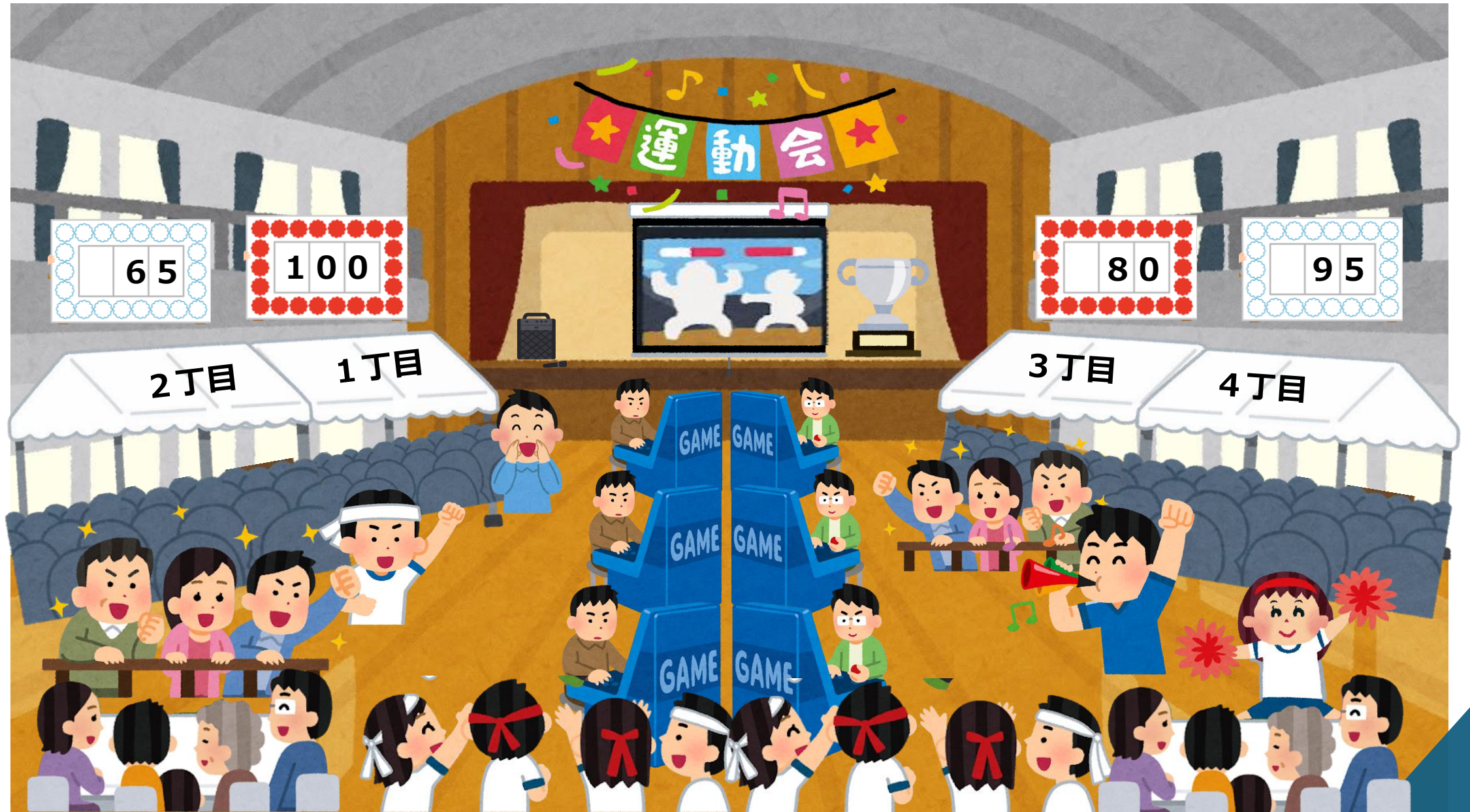
体験会開催のアンケートや当日の写真をもとに報告を作成し、**先進的な活動事例として他地区へ紹介**



他地区から開催希望があった場合は、体験会の内容説明を行う

令和2年度実施の町内会アンケートで要望あり

政策提言② 地区eスポーツ運動会



政策提言② 地区eスポーツ運動会



地区eスポーツ運動会の概要

対 象 者：町内会、自治会、地域内連携協議会等

開催目的：ゲームという競技を通して、達成感やチーム戦での一体感を楽しんでもらう、地域内での交流を図る。

【運動会のポイント】

ゲームに参加しない方も、観客として参加可能。
例えば、孫が参加する様子を観客として楽しむことも可能。地区運動会と同様の楽しみ方ができる。



eスポーツ運動会の良いところ

①天候に左右されない

→屋内での開催のため、**雨天時でも開催可能！**

②自宅からのオンライン参加も可能

→YouTube等でのリアルタイム配信で、自宅からも観戦可能！自宅の通信環境が整っていれば、プレイヤーも自宅から参加可能！

③気軽に参加できる

→**人と直接会うのは苦手な方**や**身体が不自由**で今まで運動会には参加できなかった・・・という方でもオンラインでの参加を利用することで**気軽に参加可能！**



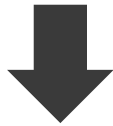
政策提言② 地区eスポーツ運動会



遠く離れていても…

子ども（孫）が県外に住んでいる場合でも、リモートでの参加が可能！

リモート参加！



3世代での参加で幅広い世代との交流が生まれる



地域の垣根を越えて…



A地区選抜チーム

VS B地区選抜チーム



今まで交流のなかった地域との新たな交流のきっかけに！

✧ 新時代の運動会 ✧

費用対効果

活動目標

年間 2 地区モデル地区を選定

①出前体験会

2 地区×年 4 回＝年 8 回実施

②地区eスポーツ運動会

2 地区×年 1 回＝年 2 回実施

短期成果目標

①出前体験会

初年度の参加者数合計320人

②地区eスポーツ運動会

初年度の参加者数合計260人

年間合計 580人

中長期成果目標

1 年目

地域全体の **4 割** の人と交流

2 年目

地域全体の **7 割** の人と交流

3 年目

地域全体の **9 割** の人と交流

※参加者数は 2 地区の合計とし、観客含む。

※参考資料⑥

予
算

年間合計 約204万円 → 3 年間継続した場合の費用 約612万円

内
訳

①年 8 回× 1 回約18万円＝年間約144万円

②年 2 回× 1 回約30万円＝年間約60万円



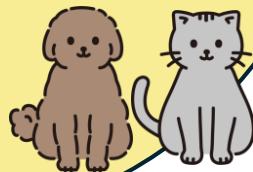
①②合計 年間 約204万円

※参考資料⑦

ビジョン

Step1

eスポーツで新たな交流の機会↑
共通の話題で親密度↑



Step 2

若い世代を含め、幅広い世代が
町内会活動に参加！
町内会活動が活発に↑



Step 3

交流増により地域内の絆が深まる
自然と助け合える関係に・・・
地域の防災・防犯機能の強化



高知県総幸福度に関するアンケート
「文化や地域」の項目で **1位** を獲得！



ご清聴ありがとうございました 

島根県安来市役所様、島根県eスポーツ連合様、(一社)高知県eスポーツ協会様、高知県社会福祉協議会様、今回の政策研究共同研修の資料及び情報提供にご協力いただきましてありがとうございました。

参考資料①

- ✓ 2024年度高知県総幸福度（GKH）に関するアンケート結果：
（一般社団法人しあわせ推進会議、土佐経済同友会GKH委員会、国立大学法人高知大学 次世代地域創造センター：2024年10月3日）

質問項目\地域毎回答数・平均値		安芸広域	物部川流域	高知市	嶺北広域	仁淀川流域	高幡広域	幡多広域	全体
		240	465	1469	94	300	207	338	3,113
文化・地域	地域に興味・関心がある活動や行事がある	3.17	3.10	3.01	3.36	3.26	3.19	3.02	3.09
	地域運営組織（自治会や町内会など）は活動が活発だ	2.97	3.10	3.01	3.30	3.16	3.13	2.97	3.05
	お住まいの地域での伝統や文化は、次世代に引き継がれている	3.00	3.08	2.80	3.23	3.15	3.21	2.93	2.95
	地域での活動（祭りや行事、町内会の活動やボランティア活動などを含む）に参加している	3.14	2.88	2.62	3.68	3.13	3.12	2.90	2.85
	お住まいの地域に愛着や誇りを感じる	3.43	3.35	3.23	3.88	3.52	3.43	3.30	3.33
	お住まいの地域は居心地が良い	3.62	3.78	3.78	3.87	3.83	3.61	3.52	3.74
安心・安全	日常生活において、治安が守られている	3.83	3.88	3.75	4.18	3.90	3.96	3.78	3.82
	災害（地震、火災、風水害）に対する行政の備えは充分だ	3.09	3.07	3.05	3.14	3.09	3.11	3.02	3.06
	災害（地震、火災、風水害）に対する地区（町内会等）の共同の備えは充分だ	2.90	2.98	2.94	2.85	2.90	2.87	2.90	2.92
	災害（地震、火災、風水害）に対する個人の備えは充分だ	2.74	2.93	2.92	2.89	2.83	2.91	2.90	2.90
	日頃から防災や治安について近隣（向こう三軒両隣）の方と交流ができています	2.72	2.54	2.33	2.94	2.81	2.71	2.72	2.52
	昼夜を問わず女性が安心して外出できる	3.60	3.49	3.45	3.90	3.70	3.65	3.46	3.52
生活環境	お住まいの地域は暮らしやすい生活環境である	3.35	3.66	3.78	3.46	3.61	3.35	3.30	3.62
	お住いの地域では、生活する上での不快さ（悪臭、騒音、ポイ捨て、ゴミ屋敷などを含む）が無い	3.52	3.70	3.55	3.89	3.63	3.64	3.39	3.57
	お住いの地域では、困っている人を見かけたときに声をかけたり協力したりする雰囲気がある	3.58	3.41	3.33	3.96	3.58	3.64	3.46	3.44
	お住いの地域に相談にのってくれる人がある	3.35	3.04	2.88	3.53	3.29	3.28	3.21	3.07
	お住いの地域には初対面の人を快く受け入れる雰囲気がある	3.22	3.27	3.24	3.48	3.45	3.27	3.18	3.27

各項目の無回答(0)を除く

赤字(値が最も高い地域)

青字(値が最も低い地域)

補足

調査対象者…高知県及び県
外在住満15歳以上
回答者数…3,439名

◇左記調査の回答項目
1 全く感じない(1点)
2 あまり感じない(2点)
3 どちらともいえない(3点)
4 まあまあ感じる(4点)
5 大いに感じる(5点)
※「分からない」・「無回答」は有効回答数から除外
※点数が高いほど、実感度が高い

参考資料②-1

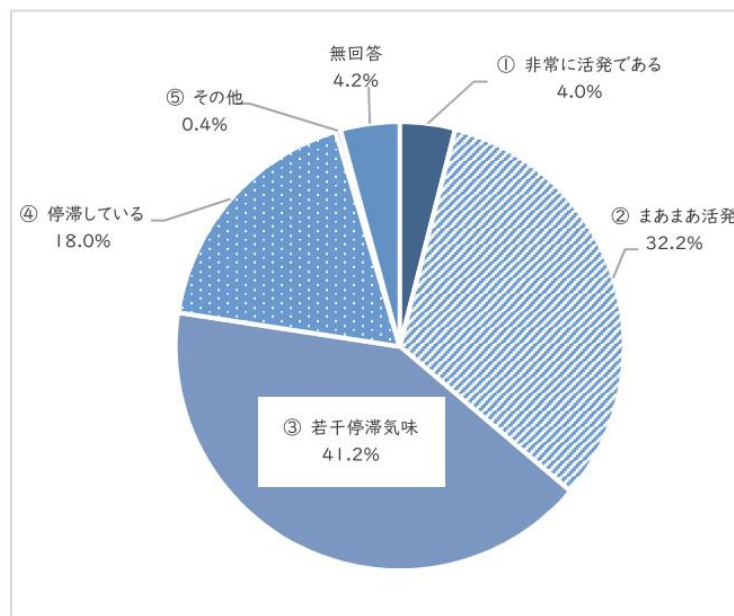
- ✓ 令和2年度 町内会等の活動に関するアンケート調査報告書：高知市町内会連合会・高知市が実施
公表月：令和3年4月 調査期間：令和2年11月20日～令和2年12月8日
調査対象：高知市の町内会等 1151団体
回収率：調査票回収数 779票（有効回収率67.7%）

（15） 活動状況

問15 町内会等の活動はどう思われますか。当てはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

N = 779

活動状況	回答数	割合
① 非常に活発である	31	4.0%
② まあまあ活発	251	32.2%
③ 若干停滞気味	321	41.2%
④ 停滞している	140	18.0%
⑤ その他	3	0.4%
無回答	33	4.2%
総計	779	100.0%



参考資料②-2

- ✓ 令和2年度 町内会等の活動に関するアンケート調査報告書：高知市町内会連合会・高知市が実施
公表月：令和3年4月 調査期間：令和2年11月20日～令和2年12月8日
調査対象：高知市の町内会等 1151団体
回収率：調査票回収数 779票（有効回収率67.7%）

（19） 希望する支援の内容

問19 町内会等の活動を行う上で、高知市からどのような支援を希望しますか。最も当てはまるものを2つ選び、番号に○をつけてください。

N = 779【複数回答】

希望する支援内容	回答数
① 人材の育成（研修・学習機会の提供等）	88
② 情報の提供（先進的な活動事例、活動助成制度の紹介等）	230
③ 運営や活動に対する助言（運営手引きの作成等）	143
④ 地域の各種団体と連携・協力体制づくりへの支援	84
⑤ 未加入者対策（転入者や未加入者への町内会加入促進、町内会活動の周知等）	116
⑥ 金銭的支援	165
⑦ 行政側の対応窓口の一本化	144
⑧ 特に支援の必要はない	130
⑨ その他	146
無回答	97

参考資料②-3

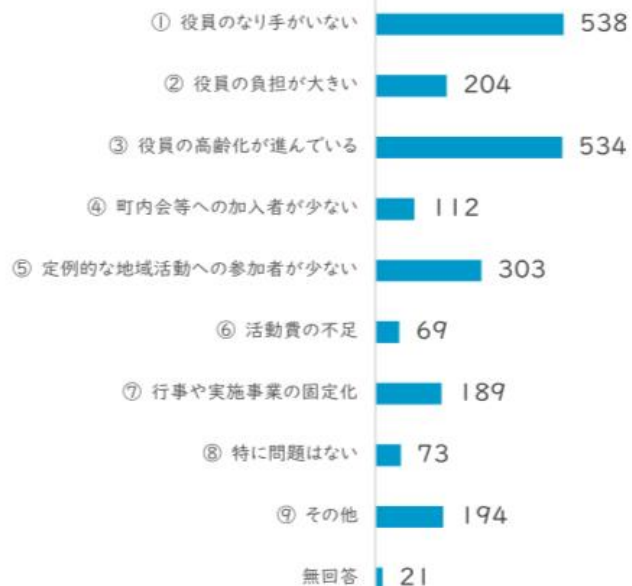
- ✔ 令和2年度 町内会等の活動に関するアンケート調査報告書：高知市町内会連合会・高知市が実施
公表月：令和3年4月 調査期間：令和2年11月20日～令和2年12月8日
調査対象：高知市の町内会等 1151団体
回収率：調査票回収数 779票（有効回収率67.7%）

（16） 課題

問16 町内会等の活動を行う上で、課題は何だと思われますか。当てはまるものすべての番号に○をつけてください。

N = 779【複数回答】

課題	回答数
① 役員のなり手がいない	538
② 役員の負担が大きい	204
③ 役員の高齢化が進んでいる	534
④ 町内会等への加入者が少ない	112
⑤ 定例的な地域活動への参加者が少ない	303
⑥ 活動費の不足	69
⑦ 行事や実施事業の固定化	189
⑧ 特に問題はない	73
⑨ その他	194
無回答	21



参考資料③

一般社団法人高知県eスポーツ協会 HP



Kochi eA 一般社団法人高知県eスポーツ協会

ホーム ニュース・イベント eスポーツとは ごあいさつ お問い合わせ 協会について 設定 ログイン

高知県にeスポーツを広めよう

よりゲームを身近な存在に
2018年3月より高知県内へeスポーツ普及活動を行っております。
いきなりeスポーツ、とはいきませんのでやはりゲームをプレイできる環境を整えていくことが大事です。

まずは体験会、対戦交流会を開催し、今後も継続していきます。
おかげさまで地元メディアの方々にも取り上げて頂き県内へのeスポーツ活動がより効果的に行え、少しでも県内の方にeスポーツを知る、きっかけになったと思います。

これも関係者を含め皆様の御支援のおかげです。本当にありがとうございます。
今後はeスポーツと様々なものが融合し、地元高知とともに発展を目指します。
応援よろしくお願いします。

Twitterでも活動情報を更新しております。
アカウントはこちら([@kochi_esports](#))

参考資料④

高知県社会福祉協議会 eスポーツでフレイル予防 記事

eスポーツでフレイル予防

2024/02/11 05:00

この記事をスクラップする



高知で体験会 高齢者の健康維持に



スタッフのアドバイスを受けながら「太鼓の達人」を体験する参加者（高知市で）

テレビゲームの腕前をスポーツとして競い合う「eスポーツ」を、高齢者の健康維持に役立てようと、県社会福祉協議会は10日、シニア世代を対象にした体験会を高知市内で初めて開いた。

10月に鳥取県で開催される「ねんりんピック」では、eスポーツの一つで曲のリズムに合わせて太鼓をたたくゲーム「太鼓の達人」が実施種目となっている。

こうしたゲームは加齢で筋力や認知機能が低下する「フレイル」を予防する効果が期待されており、同協議会や県eスポーツ協会が県内でも関心を持ってもらおうと企画した。

会場では、「太鼓の達人」のほか、「ぷよぷよテトリス」やリアルな操作感を味わえるレーシングゲーム「グランツーリスモ7」、キーボードで文字を打つ正確性と速さを競う「タイピング

ランド」の4種類のゲームを用意。来場者は慣れない操作に「難しいねえ」と笑いながらゲームを繰り返し、少しずつ上達していた。

レーシングゲームに挑戦した高知市の竹村浩一郎さん（64）は「普段の車と同じ感覚で運転するとスリップばかりで難易度が高かったが、とても楽しめた。また機会があれば参加したい」と喜んでいた。

県社協などは今後も体験会などを企画するという。

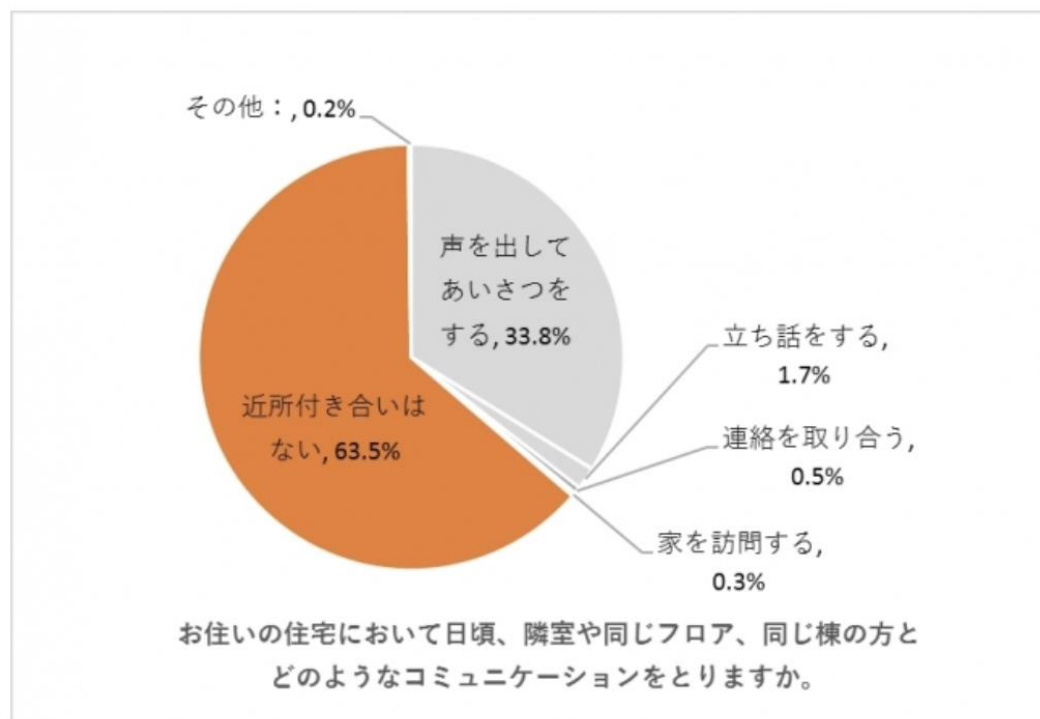
参考資料⑤- 1

- ✓ 一人暮らし男女のご近所付き合いに関するアンケート調査：独立行政法人都市再生機構が実施
公表月：平成29年 3 月 調査期間：平成29年 2 月17日～20日
調査地域：一都三県（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）
調査対象：一人暮らしの20代～30代の男女600人

1 全体の6割以上が近所付き合いをしていないという結果に！

一人暮らしの20代～30代男女を対象にした調査を実施。「お住いの住宅において日頃、隣室や同じフロア、同じ棟の方とどのようなコミュニケーションをとりますか」という調査を行ったところ、「近所付き合いはない」と回答したのは全体の63.5%となり、ミレニアル世代と呼ばれる彼らの近隣住民とのコミュニケーション不足が浮き彫りとなりました。

【グラフ①】近隣住民とのコミュニケーションのあり方について (n=600)



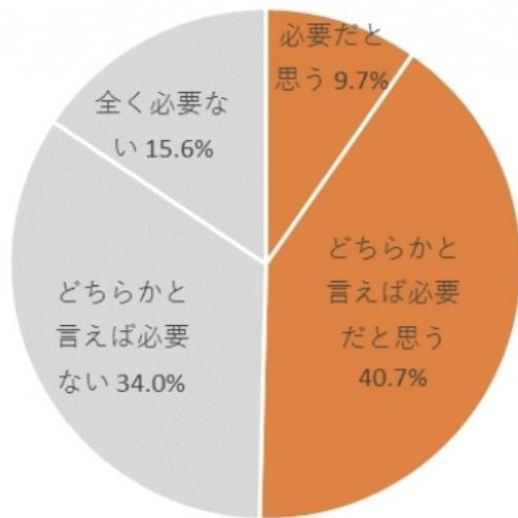
参考資料⑤-2

☑ 一人暮らし男女のご近所付き合いに関するアンケート調査：独立行政法人都市再生機構が実施

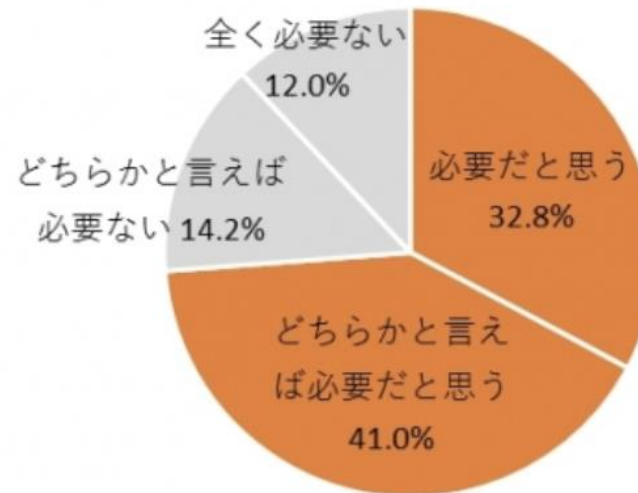
2 近所付き合いを必要だと思うのは、全体の半数以上！家庭を持つと7割以上が「必要だと思う」と回答

一方、ご近所付き合いは必要と思うかという問いに対して、「必要だと思う」、または「どちらかと言えば必要だと思う」と回答したのは、全体の5割以上となりました。その理由を調査したところ「挨拶をすると気持ちが良い」と回答したのが52.6%と、近隣住民とのコミュニケーションに対して好意的な反応が目立つ結果となりました。また、同様の質問を自身が家庭を持ったと想定した上で行ったところ、必要だと思う人は、全体の7割以上にものぼっています。「近くに顔見知りがある安心感があるから」「困った時に助けてもらえるから」と、ライフステージに合わせて近隣住民との距離感も変わっていくことが伺えます。

【グラフ②】 ご近所付き合いの必要性について / (家庭を持ったとき) ご近所付き合いの必要性について(n=600)



ご近所付き合いは必要だと思いますか。



将来、家庭を持った場合、ご近所付き合いは必要だと思いますか。

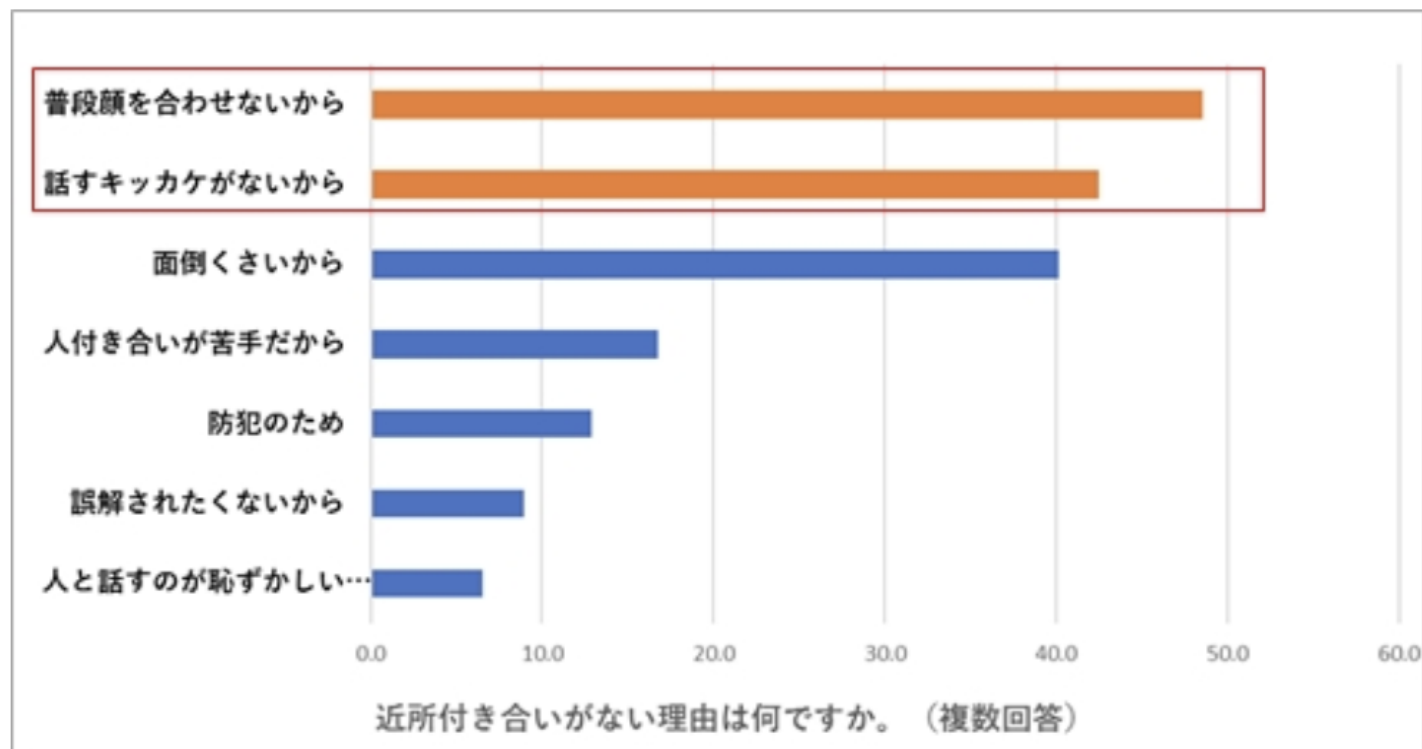
参考資料⑤-3

☑ 一人暮らし男女のご近所付き合いに関するアンケート調査：独立行政法人都市再生機構が実施

3 近所付き合いが行われない理由1位は「普段顔を合わせないから」

今現在彼らの中でも必要性を感じている人が多い中、なぜあまり近所付き合いが行われていないのでしょうか。その理由を調査したところ、「近所付き合いがない理由は」の1位は「普段顔を合わせないから」、続けて「話すキッカケがないから」と、近隣住民と接点やきっかけがないことが理由としてあがりました。これは、住民毎の生活時間の違いのほか、近所の人との接点やきっかけがない居住環境であることも影響していると考えられます。

【グラフ④】 近所付き合いがない理由について (n=381)



参考資料⑥-1 政策実施による効果（中長期目標設定根拠）

ー設定条件ー

- ①地区人口 300人
- ②参加人数は右記のとおり→出前体験会：各回40名、運動会：各回130名
- ②出前体験会は1年目は5割、2年目は3割、3年目は2.5割の人が初参加
- ③運動会は各回30人が初参加
- ④町内会長は毎回参加するものとし、町内会長からみてどれだけ交流が図れたか試算

1
年
目

出前体験会 1 回目

- ・参加者40名
- $(40 - 1) \div 300人 = 13\%$
- 地区内の約 1 割の人と新たな交流

出前体験会 2 回目

- ・参加者40名（内20人が初参加）
- $(39 + 20) \div 300人 = 19\%$
- 地区内の約 2 割の人と新たな交流

出前体験会 3 回目

- ・参加者40名（内20人が初参加）
- $(59 + 20) \div 300人 = 26\%$
- 地区内の約2.5割の人と新たな交流

出前体験会 4 回目

- ・参加者40名（内20人が初参加）
- $(79 + 20) \div 300人 = 33\%$
- 地区内の約 3 割の人と新たな交流

運動会

- ・参加者130名（内30人が初参加）
- $(99 + 30) \div 300人 = 43\%$
- 地区内の約 4 割の人と新たな交流

**1 年間で地域全体の約 4 割の人と
新たな交流が生まれる**

参考資料⑥-2 政策実施による効果（中長期目標設定根拠）

2
年
目

出前体験会 1 回目

- ・参加者40名（内12人が初参加）
 $(129 + 12) \div 300人 = 47\%$

出前体験会 2 回目

- ・参加者40名（内12人が初参加）
 $(141 + 12) \div 300人 = 51\%$

出前体験会 3 回目

- ・参加者40名（内12人が初参加）
 $(153 + 12) \div 300人 = 55\%$

出前体験会 4 回目

- ・参加者40名（内12人が初参加）
 $(165 + 12) \div 300人 = 59\%$

運動会

- ・参加者130名（内30人が初参加）
 $(177 + 30) \div 300人 = 69\%$

**1年間で地域全体の約7割の人と
新たな交流が生まれる**

3
年
目

出前体験会 1 回目

- ・参加者40名（内10人が初参加）
 $(207 + 10) \div 300人 = 72\%$

出前体験会 2 回目

- ・参加者40名（内10人が初参加）
 $(217 + 10) \div 300人 = 75\%$

出前体験会 3 回目

- ・参加者40名（内10人が初参加）
 $(227 + 10) \div 300人 = 79\%$

出前体験会 4 回目

- ・参加者40名（内10人が初参加）
 $(237 + 10) \div 300人 = 82\%$

運動会

- ・参加者40名（内初参加は30人）
 $(247 + 30) \div 300人 = 92\%$

**1年間で地域全体の約9割の人と
新たな交流が生まれる**

参考資料⑦ 政策実施にかかる費用根拠

出前体験会

①出前体験会にかかる費用

- ・高知県eスポーツ協会への委託費

※開催場所は公民館や学校とし、施設利用料はかからないものとして試算

委託料…ゲーム 1 種類につき約 6 万円

条件

- ・ 1 回の体験会に 3 種類のゲームを用意
- ・ 1 地区で年 4 回実施
- ・ モデル地区は年 2 地区選定

3 種類×約 6 万円×年 8 回＝約144万円

地区eスポーツ運動会

①運動会にかかる費用

- ・高知県eスポーツ協会への委託費

※開催場所は公民館や学校とし、施設利用料はかからないものとして試算

委託料…ゲーム 1 種類につき約 6 万円

条件

- ・ 1 回の運動会に 5 種類のゲームを用意
- ・ 1 地区で年 1 回実施
- ・ モデル地区は年 2 地区選定

5 種類×約 6 万円×年 2 回＝約60万円